

『2012年版 司法試験 完全整理択一六法 民事訴訟法』  
お詫びと訂正

以下の箇所に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

2013年3月5日現在

頁	訂正箇所	訂正前	訂正後	更新日
356	10行目	▼ 大 <b>判</b> 昭6.4.22	▼ 大 <b>決</b> 昭6.4.22	2013.2.6
356	11行目	<b>判</b> 旨	<b>決</b> 旨	2013.2.6
判例索引1	左列下から25行目	大 <b>判</b> 昭6.4.22	大 <b>決</b> 昭6.4.22	2013.2.6
333	5～14行目	▼ 最 <b>判</b> 平 20. 7.10・平 20 重 <b>判</b> 7事件 判旨： 前事件反訴の…… 解すべきである。	削除	2012.11.25
181	下から7行目	確認対象の選択 <b>に</b> 適否	確認対象の選択 <b>の</b> 適否	2012.1.12
244	3行目	164～ <b>197</b>	164～ <b>167</b>	2012.1.12
262	12行目	その法律 <b>行</b> 為	その法律 <b>効</b> 果	2012.1.12
268	10行目	<b>貸</b> 金主張	<b>貸</b> 主主張	2012.1.12
355	下から9行目、10行目	判決に準じて申立て又は職権で更正決定をすることができる <b>(257)</b> 。	判決の <b>更</b> 正 <b>(257)</b> に準じて申立て又は職権で更正決定をすることができる。	2011.12.20
287	220条[趣旨]3行目	1 <b>項</b> から3 <b>項</b> までに	1 <b>号</b> から3 <b>号</b> までに	2011.12.19
287	220条[趣旨]4行目	4 <b>項</b> で文書の	4 <b>号</b> で文書の	2011.12.19
286	下から1行目	226	226 <b>本</b> 文	2011.12.19
235	下から1行目	規則 <b>65</b> 条	規則 <b>95</b> 条	2011.12.3
235	下から2行目	④ <b>第1回</b> 口頭弁論期日前の	④ <b>最初</b> の口頭弁論期日前の	2011.12.3

頁	訂正箇所	訂正前	訂正後	更新日
180	百選 A 10 事件の判 旨の 2 行 目	父母の両者またはこのいずれ か一方	父母の両者または子のいずれ か一方	2011. 11. 29
1	扉・インデ ックス部 分	民事 <b>保全</b> 法	民事 <b>訴訟</b> 法	—
403	インデッ クス	総則	<b>(削除)</b>	—
405	インデッ クス	総則	<b>(削除)</b>	—